

シリーズ「先生方におつたえしたい：眼科」

「糖尿病網膜症」

平素より当院地域医療連携にご支援を賜りまして誠にありがとうございます。今回は、糖尿病の3大合併症の1つであり、成人の失明原因の上位に位置する「糖尿病網膜症」についてお話しをさせていただきます。



眼科 部長
みずの ともひろ
水野 友広

■糖尿病網膜症とは

糖尿病に伴って発症する眼疾患です。

光を受け取る器官である網膜が、糖尿病により血流障害を起こします。

それにより新生血管が発生し、**最終的には硝子体出血や網膜剥離、緑内障を引き起こし失明に至ります。**

新生血管が発生する直前、もしくは発生した直後に、網膜光凝固術を施行することで、上記に示したような失明に至る合併症を食い止めることが出来ます。

新生血管が発生する直前のタイミングこそ、増殖前期であり、この時期はまだ自覚症状がみられないこともよくあります。糖尿病に罹患している患者様に眼科通院をしていただくのは、この治療のタイミングを逃さないようにするためなのです。

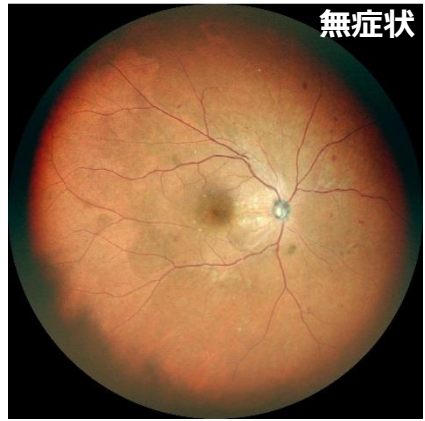
当院では、この網膜光凝固術から重症な増殖期の手術まですべて行っております。

ただ、手術が必要となるような重症例の場合、手術を行ったとしても視力予後は良いとは言えず、やはり**適切なタイミングでの網膜光凝固術が視力を残す上で重要です。**

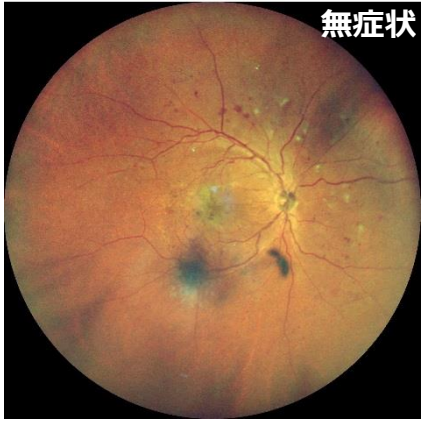
糖尿病の罹患期間や重症度に関わらず、すべての糖尿病患者に眼科通院をお勧めしています。

糖尿病の患者様が貴院に通院されていまして、眼科への受診を勧めいただければ幸いです。

<単純期> → <増殖前期> → <増殖期>



無症状



無症状



視力低下



経過観察
外来にて定期フォロー

網膜光凝固 外来治療

硝子体手術 入院治療



ご予約・お問い合わせ先／一宮西病院 地域連携室

TEL : 0586-48-0022 FAX : 0586-48-0053

(平日/AM8:30~PM 7:00 土曜/AM8:30~PM12:00 日・祝・年末年始は休み)